

2022 年 3 月 10 日

BMW グループの収益と純利益が大幅に増加

グループ EBT : 160 億ユーロ

2021 年の EBIT 率は予想範囲の上限の 10.3%

フリー・キャッシュ・フロー（自動車部門）：63 億 5,400 万ユーロ

欧州の新車フリートの CO2 排出量は 115.9 g/km (WLTP) へと大幅に減少

普通株式 1 株当たり 5.80 ユーロの配当を提案

自社株買戻しの承認を年次株主総会で提案

ツィプセ：「従業員のパフォーマンスによって変革に成功」

ミュンヘン発：BMW グループは、困難な環境の中で 2021 年度を力強く終え、見通しどおりに目標を達成した。プレミアムメーカーである BMW は、グループの収益と純利益の両方を前年に比べて大幅に増加させることができた。その業績予想は、5 月と 9 月にすでに引き上げられていた。この改善に貢献したのが、査定効果と戻入であった。BMW グループは、非財務的目標についても高い期待に応えた。たとえば、2021 年度の合計納車台数に占める電気駆動モデルの割合は、13%へと大幅に増加した。さらに、BMW グループの欧州の新車フリートの CO2 排出量も、115.9 g/km (WLTP) へと減少した。当社は、収益性を大幅に強化しながら、製品ラインアップの電気自動車化を次のステップに進めた。

BMW AG 取締役会長オリバー・ツィプセは次のように述べた。「この 1 年は、転換の成功が実を結んでいることの明確な証拠を提供しています。2021 年度に達成した力強い収益は、「適切な製品を適切な時期に」という私たちの一貫した戦略の成果です。この成功は、従業員のおかげでもあります。とりわけ彼らの努力と情熱には感謝したいと思います。私たちは、BMW において大胆な転換と経済的成功が連携していることを一体となって実証しています」。

2021 年度の高いグループ収益

BMW グループは、グループの売上高、収益および純利益をいずれも大幅に増加させ、過去最高の記録を達成して 2021 年度を終えた。納車台数は 8.4%増の 252 万 1,514 台となり、そのうち 13%が電気駆動モデルであった（32 万 8,314 台、前年比+70.4%）。

グループ売上高は 1,112 億 3,900 万ユーロに達した（前年：989 億 9,000 万ユーロ、+12.4%）。高収益モデルの割合が上昇したことで、BMW グループは、新車販売およびリース終了車両の転売の両方について積極的な製品構成効果と改善された価格設定の恩恵を受けた。従業員数が前年よりも減少し、ドイツ国内の従業員の年金制度が近代化されたことにより、売上原価が数億ユーロ規模で減少した。しかし、売上原価に占める業績連動報酬の割合が増加したことで、この効果は部分的に相殺された。原材料価格の上昇も、さらなる逆風となった。

e モビリティとデジタル化が研究開発費を押し上げる

研究開発費の増加は、BMW グループの転換が着実に進んでいることの表れである。IFRS に準じた研究開発の総費用は、前年よりも大幅に増加し、62 億 9,900 万ユーロに達した（前年：56 億 8,900 万ユーロ、+10.7%）。売上高の伸びに伴い、ドイツ商法に準じた研究開発費の割合は、前年並みの 6.2%にとどまった（前年：6.3%）。2021 年の投資は、電動化の推進に関連した新しい車両アーキテクチャーとツールキットに向けられた。デジタル製品と自動運転の開発も、追加支出につながった。

資産、工場、設備およびその他の無形資産への資本支出は、2021 年に 50 億 1,200 万ユーロにのぼった（2020 年：39 億 2,200 万ユーロ、+27.8%）。電動化製品ラインアップの大幅拡大と今後のシリーズ投入は、関連する工場においてそれらに対応した資本支出をもたらした。4.5%の資本支出率は、予定された 5%未満の目標範囲内であった。

BMW グループの通年の支払金利前税引前利益は、134 億ユーロとなった（前年：48 億 3,000 万ユーロ、+177.4%）。グループの税引前利益も力強く増加し、過去最高の 160 億 6,000 万ユーロに達した（前年：52 億 2,200 万ユーロ、+207.5%）。欧州委員会の反トラスト法訴訟が第 2 四半期に終結したことで、そのための引当金の一部戻入が約 10 億ユーロのプラスの効果をもたらした。

グループの純利益も、新記録となる 124 億 6,300 万ユーロに達した（前年：38 億 5,700 万ユーロ、+223.1%）。

配当も比例的に増加

株主も、会社の成功に適切な範囲で関与するべきである。BMW AG の年次報告書に基づき、ドイツ商法に準じて株主に分配される未処分利益は 38 億 2,700 万ユーロにのぼる（前年：12 億 5,300 万ユーロ、+205.4%）。取締役会および監査役会は、5 月 11 日に開催される年次株主総会において、30~40%という配当性向の目標範囲を維持しながら普通株式 1 株当たり 5.80 ユーロ（前年：1.90 ユーロ）、優先株式 1 株当たり 5.82 ユーロ（前年：1.92 ユーロ）の配当を提案する。配当性向は 30.7%となる（前年：32.5%）。

BMW AG 取締役で財務担当のニコラス・ペーターはこう述べた。「私たちは、株主が会社の成功に安定的かつ適切な範囲で関与できるようにするという約束を守るつもりです。私たちの株主も、30.7%の配当性向によって、2021 年度の好業績の恩恵を受けることができるでしょう」。

自動車部門の EBIT 率 10.3%

自動車部門は、需要が高止まりしたことで、より良い価格設定と改善された製品構成の恩恵を 2021 年に受けた。世界的な半導体不足により、市場で購入可能な新車が減少し、高収益モデルが好まれた。特に米国と英国におけるリース終了車両の残存価値の前向きな動向も、部門収益の増大に貢献した。さらに、交換部品とアクセサリーの事業拡大も、売上高を押し上げた。

結果的に同部門の売上高は、954 億 7,600 万ユーロへと大幅に増加した（前年：808 億 5,300 万ユーロ、+18.1%）。

支払金利前税引前利益(EBIT)は、98 億 7,000 万ユーロに達した（前年：21 億 6,200 万ユーロ、+356.5%）。

10.3%（2020年：2.7%、+7.6ポイント）という同部門のEBIT率は、私たちの予想範囲の上限であった。

同部門の決算結果は19億3,500万ユーロとなり、前年よりも大幅に増加した（2020年：5億6,000万ユーロ、+345.5%）。これは特に、中国の合併会社BMW Brilliance Automotive Ltd.の寄与率が高まったことと、株式投資および株式のプラスの評価効果によるものであった。

2021年度の税引前利益の合計は118億500万ユーロとなり、前年の数値を大きく上回った（2020年：27億2,200万ユーロ、+333.7%）。

自動車部門のフリー・キャッシュ・フローは、通年で新記録となる63億5,400万ユーロに達した（前年：33億9,500万ユーロ、+87.2%）。

見通しどおり、自動車部門の投下総資本利益率（RoCE）も、2021年に59.9%へと大幅に増加した（前年：12.7%、+47.2ポイント）。この大幅な増加は、主にEBITが前年に比べて大きく伸びたことでもたらされた。

ファイナンシャル・サービス部門が収益に大きく貢献

ファイナンシャル・サービス部門も、プレミアム・カーの新車・中古車に対する高い需要の恩恵を受けた。小売顧客との新規契約件数は、通年で195万6,514件に達した（前年：184万5,271件、+6%）。2021年末時点で管理されている計557万7,011件の小売契約ポートフォリオは、前年並みであった（前年：559万1,799件、-0.3%）。

ファイナンシャル・サービス部門の2021年の売上高は、328億6,700万ユーロへと大幅に増加した（前年：300億4,400万ユーロ、+9.4%）。同部門の税引前利益は、37億5,300万ユーロにのぼり（前年：17億2,500万ユーロ、+117.6%）、やはり前年を大きく上回った。売上高と利益の増加は、主として中古車市場での前向きな価格動向によるリース終了車両の転売利益の増大からもたらされた。信用リスクに関する価値調整の必要性が低いままであったことも、収益にさらなる好影響を及ぼした。

ファイナンシャル・サービス部門の22.6%の資本金利益率は、20~23%の予想範囲の上限であった（前年：11.2%、+11.4ポイント）。この増加は、主としてリスク状況が昨年度中に改善したことに由来する。

BMW Motorradの売上高と収益が力強く成長

BMW Motorradは、2021年に19万4,261台（前年：16万9,272台、+14.8%）を顧客に納車した。同部門は、27億4,800万ユーロの売上高（前年：22億8,400万ユーロ、+20.3%）、2億2,700万ユーロのEBIT（前年：1億300万ユーロ、+120.4%）を記録した。EBIT率は8.3%（前年：4.5%、+3.8ポイント）となり、8~10%の目標範囲内に収まっている。

主な要因は、積極的な製品構成効果と販売台数の増加であった。投下総資本利益率が35.9%（前年：15.0%、+20.9ポイント）へと大幅に増加したことは、主としてEBITの改善を反映している。

BMW AG 取締役で財務担当のニコラス・ペーターはこう述べた。「私たちは、2021 年の非常に不安定な環境の中で、基礎をなす転換とそれに伴う大規模投資に力強い成果を結びつけることができました。業績の数字がそれを証明しています。私たちは有利な立場にあり、未来を楽観視しています。格付け機関は、昨年、私たちの展望を「安定的」に訂正したことでこれを認めました」。

コストの逆風にもかかわらず第 4 四半期は好調

BMW グループは、半導体の継続的な供給不足とエネルギーおよび原材料価格の上昇にもかかわらず、好調な第 4 四半期で 2021 年を締めくくった。同期において、3 つのプレミアム自動車ブランドである BMW、MINI およびロールス・ロイスの納車台数は、半導体の状況により 58 万 9,290 台（前年：68 万 7,012 台、-14.2%）へと減少した。同時に、きわめて高い受注は、現在の製品ラインアップの強烈な魅力を裏付けた。電気駆動モデルは、販売台数の 16%強を占め、9 万 6,739 台が顧客に納車された。グループの収益は、284 億 800 万ユーロであった（前年：294 億 8,200 万ユーロ、-3.6%）。

同期のグループの税引前利益は、29 億 700 万ユーロへと大幅に増加した（前年：22 億 6,000 万ユーロ、+28.6%）。

年度の最終四半期によく見られる固定費の上昇にもかかわらず、グループの EBT マージンは 10.2%となった。第 4 四半期のグループの純利益は、22 億 5,600 万ユーロに達した（前年：16 億 8,000 万ユーロ、+34.3%）。

自動車部門の EBIT は 19 億 2,500 万ユーロ（前年：20 億 1,000 万ユーロ、-4.2%）で、主に販売台数の低下によって前年を若干下回った。23 億 5,200 万ユーロの資本支出も、2020 年の同期よりも大幅に増加した（前年：15 億 4,700 万ユーロ）。年度最終四半期の自動車部門の EBIT 率は、7.7%であった（前年：7.7%）。

ファイナンシャル・サービス部門は、特に米国と英国における中古車市場の価格高騰から引き続き恩恵を受けたことで、第 4 四半期の税引前利益を 8 億 2,900 万ユーロへとまたもや大幅に増大させた（前年：6 億 8,600 万ユーロ、+20.8%）。

従業員数は前年から若干減少

BMW グループは、2021 年末時点で 11 万 8,909 人の従業員を雇用していた（前年：12 万 726 人、-1.5%）。今年は、製品ラインアップのさらなるデジタル化と電気自動車化のために新たなスタッフの雇用を計画している。

自社株買戻しの承認を年次株主総会で提案

業績の好調な推移のおかげで、BMW グループのバランスシートは健全で、財務構造も非常に堅実である。また、高いフリー・キャッシュ・フローを持続的に生み出す能力も備えている。その理由のひとつは、最近、中国の合併会社 BMW Brilliance Automotive Ltd.を BMW グループ年次報告書に完全連結させたことである。会社の資本構造を最適化するオプションを維持するために、取締役会および監査役会は、自社株を取得および消却する権限を取締役に付与することを年次株主総会に提案する。取締役会は、法的枠組みに準拠して、株式資本全体の 10%までの自社株を取得し、それらを消却および使用する権限を 5 年間付与されることにな

る。

2021 年度統合 BMW グループ報告書はすべての SASB 要件に対応

サステナビリティは、BMW グループ企業戦略の中心的次元を担っている。3 月 16 日発行の今年度の BMW グループ報告書の中で、BMW グループは、サステナビリティ会計基準審議会（SASB）の要件を自らの報告書に初めて完全に統合する。

「事業活動の環境への悪影響をさらに低減し、社会の発展に積極的に貢献することが、当社の将来の経済的成功を今まで以上に左右するようになることを私たちは理解しています」とニコラス・ペーターは語った。

「2021 年度統合 BMW グループ報告書は、包括的な非財務指標を定期的な報告に組み込むことで、BMW グループに関する総体的な正規の見識を提供します。私たちのサステナビリティの取り組みを透明かつ包括的な方法で公開することは、会社を正しい方向に向かわせます。私たちは、この分野で業界をリードするつもりです」。

監査役会メンバーの再選の提案

Dr.ハインリヒ・ハイジンガー氏の任期は、2022 年の年次株主総会において終了する。指名委員会の勧告に基づき、監査役会は、Dr.ハイジンガー氏の任期をさらに 4 年間延長することを提案する。ドイツ企業統治法の基準に従い、候補者は監査役会によって独立しているとみなされる。

2021 年度グループ年次報告書および今年度の展望に関する詳細は、2022 年 3 月 16 日に開催される BMW グループの年次会計記者会見で発表される。その模様はインターネットで生中継される：

<http://www.live.bmwgroup.com/en/live-streaming/>

2021 年度 BMW グループ報告書は、3 月 16 日午前 7 時 30 分（CET）に公開される：

<https://www.bmwgroup.com/en/investor-relations/company-reports.html>

BMWグループ - 概要		2021年	2020年	変動率 (%)
納車台数				
自動車 ¹	台	2,521,514	2,325,179	8.4
内訳：BMW ²	台	2,213,790	2,028,841	9.1
MINI ²	台	302,138	292,582	3.3
ロールス・ロイス ²	台	5,586	3,756	48.7
モーターサイクル	台	194,261	169,272	14.8
従業員数（2020年12月31日時点との比較）		118,909	120,726	-1.5

自動車部門EBIT率	%	10.3	2.7	+7.6%ポイント
モーターサイクル部門EBIT率	%	8.3	4.5	+3.8%ポイント
EBTマージン（BMWグループ） ³	%	14.4	5.3	+9.1%ポイント
売上高	百万ユーロ	111,239	98,990	12.4
内訳：自動車	百万ユーロ	95,476	80,853	18.1
モーターサイクル	百万ユーロ	2,748	2,284	20.3
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	32,867	30,044	9.4
その他の事業	百万ユーロ	5	3	66.7
連結調整	百万ユーロ	-19,857	-14,194	39.9
支払金利前税引前利益（EBIT）	百万ユーロ	13,400	4,830	177.4
内訳：自動車	百万ユーロ	9,870	2,162	356.5
モーターサイクル	百万ユーロ	227	103	120.4
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	3,701	1,721	115.0
その他の事業	百万ユーロ	-8	36	—
連結調整	百万ユーロ	-390	808	—
税引前利益（EBT）	百万ユーロ	16,060	5,222	207.5
内訳：自動車	百万ユーロ	11,805	2,722	333.7
モーターサイクル	百万ユーロ	228	100	128.0
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	3,753	1,725	117.6
その他の事業	百万ユーロ	531	-235	—
連結調整	百万ユーロ	-257	910	—
法人税	百万ユーロ	- 3,597	-1,365	—
純利益 ²	百万ユーロ	12,463	3,857	223.1
1株当たり利益（普通株／優先株）	ユーロ	18.77/18.79	5.73/5.75	—

¹ 合併会社 BMW Brilliance Automotive Ltd.（瀋陽）の台数を含む（2021年：65万1,236台、2020年：60万2,247台、2019年：53万8,612台、2018年：45万5,581台、2017年：38万5,705台）。

² 2020年度および2021年度として発表された小売納車データは、それ以前の年度として発表された同種のデータと直接比較できない。小売納車データに関する詳細については、2021年度BMWグループ報告書に記載された「見通しと実際の結果との比較」を参照。

³ グループ売上高に対するグループ税引前利益の比率

BMWグループ - 概要		2021年 第4四半期	2020年 第4四半期	変動率 (%)
納車台数				
自動車 ¹	台	589,290	687,012	-14.2
内訳：BMW ²	台	510,722	601,449	-15.1
MINI ²	台	77,300	84,458	-8.5
ロールス・ロイス ²	台	1,268	1,105	14.8
モーターサイクル	台	37,652	39,673	-5.1
従業員数（2020年12月31日時点との比較）		118,909	120,726	-1.5
自動車部門EBIT率	%	7.7	7.7	—
モーターサイクル部門EBIT率	%	-19.8	-1.2	-18.6%ポイント
EBTマージン（BMWグループ） ³	%	10.2	7.7	+2.5%ポイント
売上高	百万ユーロ	28,408	29,482	-3.6
内訳：自動車	百万ユーロ	25,103	26,024	-3.5
モーターサイクル	百万ユーロ	486	568	-14.4
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	8,688	7,989	8.7
その他の事業	百万ユーロ	2	2	—
連結調整	百万ユーロ	-5,871	-5,101	15.1
支払金利前税引前利益（EBIT）	百万ユーロ	2,487	2,197	13.2
内訳：自動車	百万ユーロ	1,925	2,010	-4.2
モーターサイクル	百万ユーロ	-96	-7	—
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	832	664	25.3
その他の事業	百万ユーロ	-5	-7	—
連結調整	百万ユーロ	-169	-463	—
税引前利益（EBT）	百万ユーロ	2,907	2,260	28.6
内訳：自動車	百万ユーロ	2,149	1,955	9.9
モーターサイクル	百万ユーロ	-96	-8	—
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	829	686	20.8
その他の事業	百万ユーロ	153	55	178.2

連結調整	百万ユーロ	-128	-428	—
法人税	百万ユーロ	-651	-580	12.2
純利益	百万ユーロ	2,256	1,680	34.3
1株当たり利益 (普通株／優先株)	ユーロ	3.39/3.40	2.53/2.54	—

¹ 合併会社 BMW Brilliance Automotive Ltd. (瀋陽) の台数を含む (2021 年 : 65 万 1,236 台、2020 年 : 60 万 2,247 台、2019 年 : 53 万 8,612 台、2018 年 : 45 万 5,581 台、2017 年 : 38 万 5,705 台)。

² 2020 年度および 2021 年度として発表された小売納車データは、それ以前の年度として発表された同種のデータと直接比較できない。小売納車データに関する詳細については、2021 年度 BMW グループ報告書に記載された「見通しと実際の結果との比較」を参照。

³ グループ売上高に対するグループ税引前利益の比率

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>